

館長だより

山形県産業科学館

平成28年8月17日 第61号

発行 館長 大津 清

「科学の祭典」が開催されました

去る平成28年8月6日(土)10:00~16:00に霞城セントラル1階アトリウム、2階から4階山形県産業科学館、3階大会議室・視聴覚室において、「2016青少年のための科学の祭典in山形」が開催されました。

30ブース(昨年33ブース)が出展して、多くの方々が面白い工作やふしぎな実験・観察などを体験しました。今年は、反射神経競技会やサイエンスショー、リニアモーターカー実演などの特別出展も行われ、多彩な内容となりました。山形県産業科学館の入館者数は5,615名(昨年5,995名)でした。

これからも産業科学館では、楽しいワークショップや面白いイベントをやっていきます。ぜひ、お越しください。



「光の不思議」を開催しました

去る平成28年7月31日(日)13:30~15:30に山形県産業科学館4F発明工房において産業科学館イベント『小さな科学者・体験学習会「光の不思議」』を開催しました。

講師は、山形大学理学部遠藤龍介先生、大西彰正先生、北浦守先生と学生5名の皆さんにより行われました。参加者は子どもたち20名と保護者の皆さんが参加しました。

内容は、簡単な実験や工作を行い、光の不思議を体験しました。分光器を作って原子の光を見たり、光の科学手品をしたり、身近な面白い光の性質を知りました。

ご参加いただきましてありがとうございます。



「触れる地球」実演会が開催されました

来る平成28年7月17日(日)に山形県産業科学館2階フリースペースで「触れる地球」実演会が開催されました。開催時間は下記のとおりです。

【午前の部】11:00~11:30【午後の部】13:30~14:00

主催は、山形大学SCITAセンター(協賛事業)によるもので、学生スタッフ4名が下記の3つのテーマについて実演しました。

【実演テーマ】

- ☆ザトウクジラの回遊と生態 なぜ回遊するのか
- ☆ハチクマの渡りと奇妙な生態 この壮大な旅の不思議さ
- ☆地震による津波の広がり 防災上欠かせない知識

私たちが宇宙に浮かぶ地球に生きていることを実感しました。参加者は44名ありました。

「触れる地球」には、100種類を超える素晴らしいコンテンツが入っています。

ぜひ、ご覧ください。



・私は考えはなかった。ただ、探求した。

ヴィルヘルム・レントゲン
(科学技術振興機構「サイエンスチャンネル」より)

ヴィルヘルム・レントゲン(1845-1923)は、ドイツの物理学者です。X線を発見して第1回ノーベル物理学賞を受賞しました。